

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	悪性黒色腫	
	タイプ		
タイトル情報	論文の英語タイトル	Impact on survival by method of recurrence detection in stage I and II cutaneous melanoma	
	論文の日本語タイトル	stage I と II の黒色腫における再発検出方法の生存に与える重要性	
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)	
	ガイドライン上での目次名称	MMC Q 2 3 - 3	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 (IV)	
	Pubmed ID	9524709	
	医中誌 ID		
	雑誌名	Ann Surg Oncol	
	雑誌 ID		
	巻	5	
	号	1	
	ページ	54-63	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原文言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)	
	発行年月	1998、Jan-Feb	
	著者情報		氏名
筆頭著者		Mooney, M. M.	Department of Cancer Control and Epidemiology, Roswell Park Cancer Institute,
その他著者 1		Kulas, M.	
その他著者 2		McKinley, B.	
その他著者 3		Michalek, A. M.	
その他著者 4		Kraybill, W. G.	
その他著者 5			
その他著者 6			
その他著者 7			
その他著者 8			

一次研究の 8 項目	目的	経過観察法による生存率の違いを明らかにする	
	研究デザイン	後ろ向きコホート研究および症例対照研究	
	セッティング	Roswell Park Cancer Institute	
	対象者	1971 年から 1995 年までの stage I, II の皮膚悪性黒色腫患者 1004 人	
	対象者情報 (国籍)	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず (2)	
	対象者情報 (性別)	1.男性 2.女性 3.男女区別せず (3)	
	対象者情報 (年齢)	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず (22)	
	介入 (要因曝露)	なし	
	エンドポイント (アウトカム)	エンドポイント	区分
	1	再発率	1.主要 2.副次 3.その他 (1)
	2	生存率	1.主要 2.副次 3.その他 (2)
	3		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	4		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	5		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	6		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	7		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	8		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	9		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	10		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	主な結果	再発の詳細が検討可能な症例 154 例中診察で 72%、自覚症状 17%、胸部 X 線で 11%の再発が発見された。血液検査は転移を検出できなかった。胸部 X 線で発見された 17 例中 9 例のみ外科治療が行え、行わなかった群に比べ生存率が向上した。しかし、無症候で肺転移が発見された群と症状出現後に発見された群には生存率に差がなかった。	
結論	ほとんどの転移は診察で発見される。胸部 X 線は限られた患者群で手術可能な無症候肺転移を検出することが可能である。		
備考			
レビューワーコメント	レビューワー氏名	八田尚人	

	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類（ IV ） 発見契機と予後との関連について検討してある貴重な報告
--	------------	-------------------------------------------------